

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	豊橋技術科学大学	整理番号	1-2-069
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	社会のダイナミズムに連動する高等技術教育 －実務訓練を柱として－		
申請単位	大学全体		
申請担当者	清水 良 明		
<p>(取組の概要)</p> <p>豊橋技術科学大学の教育の特色である学部・大学院の一貫教育に基づく実践教育が社会のダイナミックな要請に的確に応えられるように、その機能化・実効化を目指すものである。すなわち</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学術的な教育研究と社会での実地の経験を交互に体得させる、 (2) 就業体験を積みませ、高度な専門技術に触れさせながら実務能力を高めさせる、 (3) 多様な集団の中で共に学ぶことを通じて自主的に考え協調的に行動できる能力を身につけさせる、ことを目的とする。 <p>このため通常のインターンシップとは異なる産学連携の人材育成教育である実務訓練をこうした高等技術教育の柱として位置付け、その機能を基礎と専門を交互に発展的に適用するらせん型教育に一体化させることを試みる。そして実務訓練を通して動機付けられた実践的思考力を大学院教育・研究において醸成させ、予測不可能な未来社会の変化にも柔軟かつ適確に対応できる能力を養う教育課程の工夫改善を行うものである。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、豊橋技術科学大学の教育目的・教育方針を実現するため、当大学の意思決定機関で決定され、組織的に実施されている取組であり、関係者の努力によって当初目標を達成するなど大きな成果を上げています。</p> <p>現在は、社会・経済構造、産業構造のダイナミックな変化に対応できる特色ある教育が求められており、この取組はこうした社会の多様な要請にこたえるべく取組ということができます。また、産学連携による教育という特色を持つ実務訓練制度は、高度技術教育の目的にそった取組内容として一貫性があり、その組織的対応も保証されており、実績面でも説得力があります。他の大学の参考になる事例と思われます。</p>			